

活動紹介

兵庫区 **いかり共同作業所 支援**

ご存知ですか？

ケナフの会では 兵庫区「**いかり共同作業所**」の支援活動をしています！
今回は 支援活動状況を 報告致します。

いかり共同作業所 紹介-1



いかり共同作業所 建屋正面



自主製品 紹介

ポーセラーツ製品



はがき



アレンジ例

牛乳パックを原料に、一枚一枚丁寧に漉いています

メッセージカード



白磁の食器などに転写紙を貼って焼き付けて、オリジナル作品が出来上がります

いかり共同作業所は

「障害の違いや程度を超えて、共に働くことを通じて全ての仲間の

限りない発達が保障される施設作りを目指して運営されています。」

作業所は 地域の方々に支えられ、地域と共に育つよう、いろいろな行事や活動をされています。

所在地：〒652-0822 兵庫区西出町1丁目2-13

TEL：078-651-1902

ケナフの会 いかり共同作業所支援活動の紹介

3名の会員の方に協力して頂きました。

押し花 シール作り

活動日:毎月 第3水曜日 10時~12時



押し花シール製作



製作した押し花シールを、はがき大の台紙(牛乳パックで漉いた紙)に貼付られる。いかり共同作業所の商品として売り出されています。



上の写真は 押し花シールの完成品です。

押し花の「花びら」「葉」「茎」等を使って「デザイン」し 接着台紙に貼り付けます。押し花表面の保護は、特殊なフィルムを全面に貼り付けます。その後 各押し花の輪郭に沿って切り取り、はがき大の台紙に 貼り付けます。



独走的な 草花シールの完成です! あなたも 作ってみませんか!

諸軽作業支援

活動日:毎月 第3水曜日 13時30分~15時30分

諸作業:牛乳パックの切断及び紙すき材料化、祭りの飾り風船作り、資料の封筒入れ等多数



あなたも 参加してみませんか!?

いかり共同作業所 紹介-2

生環14期 吉岡 康 氏

いかり共同作業所を Q&A で紹介

Q1: いかり共同作業所とは どんなどころ？

A1: 発達障がい者が働くことを通じて、発達を保障する事業を行っている社会福祉法人です。

Q2: いかり共同作業所とケナフィの会の関係は？

A2: 障害者が可能な手漉き紙の商品化に際し、ケナフィの会の紙漉き技能をもって支援を始めました。現在では事業として成功しています。

Q3: 現在は どんな支援をしている？

A3: 押し花を用いた各種商品づくり支援と、施設が請負った多様な軽作業を支援しています。だれにでも出来る作業ですが、仕事量が多く、多くの方の参加が望まれます。

Q4: 具体的な活動日・時間・場所は？

A4: 原則 毎月第四水曜日で
午前(10時～)は押し花づくりが中心、
午後(13時30分～)は各種軽作業が中心です。
場所は 兵庫区西出町1-2-13 最寄り駅は

Q5: 参加希望の場合は？

A5: 次の方に連絡して下さい。

生環14期 吉岡 康 氏 TEL: 997-8027 Eメール: bfcpf076@ybb.ne.jp

生環18期 向崎 良男氏 801-2794 dfabl210@kcc.zaq.ne.jp

生環18期 山口 昭則氏 793-2595 qqzs9emd@bell.ocn.ne.jp

生環6期 森 佳代子氏

いかり共同作業所支援の経緯

開始時期: 平成14年

支援依頼: 当時のグループわ理事長より
紙漉き指導がケナフィに
支援要請がありました。

当初は9名で月2回支援を、3チーム編成で行い、1年間紙すき作業を続けました。
いかり共同作業所メンバー(障害者の作業員)の作業習熟度が向上したので、支援終了を申し入れました。

ところが、メンバーから

「ボランティアさん達が

ガンバッテいるので 僕たちも

『がんばろう!』と意欲を持って

取り組んで来ました!

続けて下さい!」

と言われ 続けて来ました。

高齢のため参加者が減り、3年目より月1回の支援活動とし、現在に至っています。

会員活動報告 生環12期 喜多洋二氏

いかり共同作業所で ボランティア活動の様子を 次の通り報告致します。

午前中は概ね「押し花シールづくり」、午後は「牛乳パック表面はがし」「タオル折り」「封筒シール貼り」等の軽作業をする方に分かれて支援作業をしています。

私は午前中の支援活動に参加しています。参加者は2～3名です。

押し花シール作りの作業は、自分の感性を活かすことが出来る作業です。

花びらや葉っぱをピンセットで つかんで、台紙の上に配置します。自分の感性で、可愛くなるように貼るのですが、もともと絵心の乏しい私ですので 上手には作る事ができません。

それでもなんとなく見栄えのいいように作っていくのですよ。

時には作業所の人たちと一緒に作業所が受注してきた品物のタオル折や封筒シール張などの作業をしたりすることがあります。参加の皆さんは、ゆっくりと作業をする方がいたり、丁寧に作業をする方などいろいろな特徴があるなと思ったり致します。

最近はいかり共同作業所の活動に疎遠になっている方、そしてちょっと作業所を覗いてみようかなと思われた方、興味を持たれた方はぜひ一度作業所に来ていただけないでしょうか。

お声をかけてくださいね。

今年の1月は注文書のスタンプ押し作業、2月は牛乳パックはがし作業をしました。

3月8月9月は予定が重なったりして欠席しました。

4月5月6月7月10月11月は押し花シール作りの作業をしました。

名前の由来:「いかり共同作業所」

港神戸にちなんだ他に、障害のある人たちが「働くことのできない社会への「怒り」を込めて名付けられました。